

# WE 21 Japan News

WE 21ジャパンニュース



特集

## 「自分発」が 生み出すパワー

～ボランティア活動の価値と可能性～



# めぐり めぐり ぐる

### CONTENTS

「自分発」が生み出すパワー ～ボランティア活動の価値と可能性～	1～4
フィリピン研修レポート	5
WEフェスタ春	5
「もったいないを活かそう2015」 お知らせ	6

# No. 72

WE 21ジャパンニュース

# 「自分発」が生み出すパワー

～ボランティア活動の価値と可能性～

日本で「ボランティア」が身近なものとして一般に広がったのは、1995年1月の阪神淡路大震災が契機と言われ、この年は「ボランティア元年」と呼ばれました。それから20年がたち、「ボランティアってそもそも何だろう?」と考えてみると実はいろいろな意味があり、それを意識せずに使っている現状があるようです。今号では、原点に帰って「ボランティア活動」について考えます。



PART /

## 「ボランティア活動」とは?

～起源はイギリス

### 「自分発」が、ボランティア

「ボランティア」の語源は、ボランティアというラテン語で、「自由・正義・勇気」を表します。

ボランティア活動の起源はイギリスと言われ、1641年からの清教徒革命の時代、コミュニティを守るために立ち上がった「自警団」が発祥であるという説や、18世紀の産業革命で町にあふれた貧困層を支援する「セツルメント運動\*1」なども言われます。これらに共通するのは「自らの意志」において、「公共のため」を目的に行われるという部分です。ボランティア

は従来の地縁・血縁に組み込まれたの参加や、行政・企業活動とは異なる、「自分発」の活動です。

### 無給のお手伝い?!

ボランティア活動には、「言われなくてもする・言われてもしない」という「自発性・主体性」という面と、「社会の矛盾や困難を他人事とせず自分の事として」捉える「社会性・

公共性」が大きく定義されます。そのほかに「無償性」もあげられますが、利益が目的ではないという意味から、無償性がボランティア活動の本質とまでは言えないようです。もしかして、私の活動は単なる無給のお手伝い...?と感じたときは、振り返りのチャンスです。イギリスの教育学者アレック・デイクソン博士はボランティア活動を、「自らの自由意志によって、社会に参加し、社会を変革し、社会を創造することができるとすべての人に与えられた基本的人権」であると言っています。

今、私たちの社会には、公平・公共性を重んじる行政サービスや、営利を追求する市場経済では解決できない課題があふれています。ボランティア活動は、強みである「先駆性・創造性」によって、新たな仕組みをつくり出し、社会課題に挑戦する無限の市民パワーなのです。

参考:『ボランティア活動をデザインする』2013年(学文社)





## 2団体からのインタビュアー ～一人ひとりの力を引き出すには

### 特定非営利活動法人 横浜NGO連絡会(YNN)

エグゼクティブ・プロデューサー  
小俣典之さん



学生インタビュアーと一緒に。横浜NGO連絡会(YNN)の事務所にて。(左が小俣さん)

**横浜NGO連絡会**(YNN)は、横浜をはじめ神奈川県内のNGOが連携し、広く国際協力活動を進めるために2001年に設立された中間支援組織です。「よこはま国際フェスタ」や「よこはま国際フォーラム」などの国際協力・国際交流イベントを、大勢のボランティア参加によって運営しています。

#### 一人ひとりを「個」として受けとめる

ボランティア希望者とは、一人ひとり面談を行います。それは「ボランティアを単なるイベント要員のよう」に扱ってはいないだろうか」という疑問から始まりました。4年前から約45分間の面談をし、興味・関心、悩みや将来の夢などをじっくりと聞き、カルテに記入します。その内容は、生き方探し、社会貢献、NGOへの就職についてなど様々ですが、一人ひとりの「想いを大切にしています。以前は、登録用紙に各自で記入してもらっていました。紙からは大事な情報が読みとれません。その人の背景を知り、存在を受け入れる信頼関係

\*1...18世紀のイギリス。ボランティア活動の起源と言われるセツルメント運動(貧しい人たちが共に暮らしながら行う支援)

づくりが適切なコーディネートには欠かせないと考えています。

#### 「コミュニケーションはSNSを活用

面談後は、分野別にチームで活動します。Facebookを使い、各グループと全体の情報共有を行います。メッセージ機能で個別のやり取りもできるので、フォローアップも効率的です。もちろん実際の様子を見ながら、必要に応じてサポートします。イベントはゴールではなく、それに至るまでのプロセスに学びがあります。活動していく中で、成長し変容していく方もいます。このような人材育成によって、市民社会を強くすることに資していきたいと考えています。ボランティア募集にもSNSを活用します。以前は、案内チラシを区役所などに配架していましたが、経費



や効果の点からインターネットだけにしました。特にTwitterでの募集は効果的で、国際協力に関心のある学生から30代前半の社会人を中心に、応募があります。一方、SNSが苦手な層への働きかけは不十分になっています。

#### 十分な受入れ体制づくりを

中間支援組織として強化していきたいのは、ボランティア活動で育った方たちを、地域の国際協力団体へつなぐことです。しかし若い人が活躍する場を用意できる団体が少ないという現状があります。

最近では、社会に順応しづらい方たちがボランティア参加する機会が増えてきました。受入れの際に必要な、専門知識や対応についての情報提供も行う必要があると考えています。

理事  
合田茂広さん



災害ボランティアのトレーニングをする合田さん

ピースボート災害ボランティアセンターは、地球一周の国際交流の旅を行うNGO「ピースボート」を母体に2001年4月に設立されました。東日本大震災では宮城県石巻市に「ピースボートセンターいしのまき」を設立。大規模なボランティア組織で緊急支援を行い、現在も石巻のほか広島土砂災害や伊豆大島の台風災害など活動の場を広げています。

### ピースボートの ノウハウを活用！

災害ボランティアセンターの設立には、阪神淡路大震災（1995年）での経験が基本にあります。支援に入った当時、大勢のボランティアが全国から集まっていたが、受付もままならない状況で、ニーズとのマッチングや活動内容の説明などコーディネートがすぐに必要であると痛感しました。

災害時のボランティア・コーディネートでは、ピースボートの船旅や1000人をつアールバスで移動する時のノウハウが活かされました。炊き出しは、船のシェフが大量に調理する技術が、外国人ボランティアには、通訳ボランティアがバイリンガルのチームリーダーとなつて対応、被災地新聞は日刊の船内新聞の作成経験が応用できました。

ボランティアの人数が多いと得意分野をもつ人がいるものです。重機を扱える人、大工や調理師などが見

つかれば、具体的な活動につながっていききました。

### 被災現場で 必要なのはリーダー

被災地全体の状況を把握して、現場のニーズに応じた人材と人数を送り込むコーディネーターは、デスクワークも多くなかなか現場にいられません。ボランティアが安全で最大限の支援を行うためには、リーダーが不可欠だと阪神淡路や東日本の大震災から学びました。

リーダー1人につき5人1組の4チーム、計20人程の現場を預けますが、被災地で具体的に指導できるリーダーを育成するために、入門編から上級者までの講座やワークショップを実施しています。自分の身を守ることを基本に災害現場での実例学習、リーダーシップなどを学びます。

### 責任あるボランティアは、 もっと活躍できる！

ボランティアの募集は、イベントな

どで活動に興味のある方へ定例の説明会をご案内し、常に新しいボランティアを募集しています。

一般にドナー（寄付者）である個人や企業に対しては、NGO/NPOの説明責任（アカウンタビリティ）は果たされるようになってきましたが、ボランティアへの説明責任はまだ十分とは言えません。団体がリーダーへ情報を伝え、リーダーからボランティアへ、さらにボランティアが新人ボランティアへ伝える、というように団体のミッションやプロジェクトの目的と内容を浸透させます。これによって自分の役割を深く理解でき、より活躍できるようになります。

「教える立場になる」こともボランティアの成長につながります。失敗があった場合も本人が責任をとることが重要です。少し経験を積んだボランティアが「しかり役」を担うことで、責任感とやりがいが増えます。しかるときの基準は「被災者のためになっているか」ですが、それぞれの団体で、それぞれの「基準」があると思います。新しい発想でダイナミックに活躍できる、無限の可能性をボランティアに感じています。

PART 3

## WE21ジャパン・グループの ボランティア活動とこれから

WE21ジャパン・グループ（以下WE21グループ）は、56のWEショップを中心に開催しているボランティアの手で活動を進めています。身近な資源を活かす「リユース・リサイクル事業」、アジアの女性たちと顔の見える支援をつくる「民際協力事業」、互いを育て学びあう「共育（ともい）活動」、さらにそこから発展した「政策提言活動」へと広がってきました。





福島復興支援に売上を寄付します！貧困なくそうキャンペーンにて。(WE ショップよこすか北久里浜店 2014年)

## WE21グループの ボランティアの特徴

活動を担うボランティアの全体像を知るために、2013年に「ボランティア1000人アンケート\*2」を実施しました。年代は50代から70代の女性たちで、約半数を占めるのは60代です。ボランティアを始めたきっかけは、口コミが約60%。10年にわたって関わっている方が全体の25%以上を占めています。

活動に参加する主な理由は、「出会い・交流が楽しい」、「社会の役に立ちたい」。そして「元気」で「好奇心旺盛」、「勤勉」というのがメンバーの雰囲気です。参加してよかったことは、「友人が増えた」、「個人ではできないことが、力を合わせてできた」、「WEショップの売上から民協協力ができた」などがあげられています。そして90%近くの方が「これからも続けたい」と回答しています。

長引く経済不況という時代背景の中、本当の豊かさや平和のために、資源の循環と民協の協力を実現してきたパワーは健在です。

## 課題は世代交代

元気なボランティアが活躍するWE21グループで、一番の課題は世代交代です。学生など若い世代の参加は増えていても、夏休みなどの限られた期間が多く、長く続けるのは難しいようです。活動の中心は子育てが一段落した女性たちですが、両親の介護などで活動から離れる時期もあります。色々な状況の中でも常に新しい顔ぶれが加わる、風通しのよい環境をととのえておきたいものです。

前項のインタビューでは、ボランティア一人ひとりの想いを大切にすること、参加を増やすSNSの活用、リーダーの育成、定期的なボランティア説明会など、いろいろなヒントがあげられました。

時代とともに技術は進化し人の動き方も変化します。これまでのやり方に留まることなくWE21グループも進化していきます。



WE21グループのメンバーが集結！WEフェスタ秋・支援バザール2014(相模大野)にて。



とても身近、  
でもグローバルな  
WE21グループへ

WEショップを拠点とするWE21グループの活動は、地域に根ざした活動です。気軽にお買物、自宅の衣類などを寄付、そして時間があればWEショップでボランティア。支援先は遠くアジア・アフリカとグローバルですが、国内で身近にできる民協協力というのが最大の魅力と言えます。

世界の課題が私たち自身の課題であることを学び、日々の活動から平和を紡ぎだす仲間たちが力を合わせた時、想像を超えるパワーが生まれることを経験できます。社会に参加し、変革し、創造するボランティア活動の価値を心に留めつつ、市民が誰でも参加できる、身近でグローバルなWE21グループの活動に、あなたも参加してみませんか？

\*2:『WE21ジャパン市民白書2014 WEショップから世界を変える』より

# ネットワークを活かした 一石二鳥のプロジェクト

## ベンゲットネットワークを訪問して

首都マニラから車で8時間ほど北上したベンゲット州は、標高2,000mにおよぶ山岳地帯です。こちらにはWE21の民際協力事業地があり、当初からのパートナーである「ベンゲットネットワーク」がベンゲット州のNGOを結ぶネットワークを築いています。ここで今、ネットワーク力を活かした新たなプロジェクトがスタートしていました。



有機農業に欠かせない  
液肥をつくる若者たち

外務省主催 NGO海外スタディプログラム 研修員として、WE21民際協力室スタッフ小池絢子が10月半ばからの1か月半フィリピンに滞在しています。ネットワークづくりをテーマとした研修の様子をレポートします。



ベンゲット州は鉱物資源が豊富で、鉱山開発による環境破壊や化学肥料会社の進出など様々な課題があります。その解決に向けて、有機農業で生計を向上させ、鉱山や化学肥料に頼らない生活を目指した活動をしています。必要な有機堆肥や液肥がとれず、有機農業が軌道にのらない地域が多くあります。

## 2つの課題を同時解決？！

一方、中心都市バギオでは学校をドロップアウトした若者たちの間で、ドラッグやアルコール中毒が大きな社会問題となっています。

新しいプロジェクトは、有機堆肥や液肥づくりをその若者たちが担い農家へ提供することで、州内の有機農業を支え、同時に若者たちの更生をサポートするものです。NGO間のネットワークを活かした新プロジェクトは、若者たちのイキイキとした表情を取り戻し、その先の明るい未来へつながろうとしています。

(WE21民際協力室スタッフ 小池絢子)

予告

## WEフェスタ春

2015

# もったいないを活かそう

「もったいない」の気持ちからご寄付いただいた衣類、食器、雑貨、アクセサリ、バッグ・靴などを販売します。また、WE21グループのメンバーによるリメイク品（小物や衣類、バッグなど）の展示・販売を通して、古布の活用をアピールします。

★そのほか、学生とのコラボレーション企画、東日本復興支援団体によるブース出展を予定しています。

入場無料

2015年 3月4日(水) 10:00~17:00

5日(木) 10:00~16:00 (予定)

会場：かながわ県民センター(横浜駅西口徒歩5分)

1F 展示場  
(両日開催)

2F ホール  
(初日のみ開催)

市民の皆さまから寄付された古布が、  
様々な創作品に！(昨年の様子)



◀WE21ボランティア  
によるリメイク品が  
たくさん♪

横浜美術大学の学生  
たちのリメイクアート  
作品(ポコス)



◀古布から生まれた  
不思議な人形世界  
(現代美術家  
安部泰輔さん作品)





## WE21ジャパン・グループ

NPO	住所	TEL	NPO	住所	TEL
WE21ジャパン厚木	厚木市中町3-18-5	046-296-2555	WE21ジャパン青葉	横浜市青葉区柿の木台14-14	045-978-4198
WE21ジャパン相模原	相模原市若松4-13-3	042-744-9799	WE21ジャパンかながわ	横浜市神奈川区西神奈川13-16-1	045-633-1537
WE21ジャパン海老名	海老名市中央1-14-46-103	046-235-4047	WE21ジャパンほどがや	横浜市保土ヶ谷区川辺町2-2-103	045-334-5140
WE21ジャパン大和	大和市福田1-9-4	046-269-1343	WE21ジャパンなか	横浜市中区本牧町1-98-2	045-232-4082
WE21ジャパンざま	座間市入谷5-1853-33	046-251-3720	WE21ジャパン旭	横浜市旭区中希望が丘101-21	045-364-3277
WE21ジャパン伊勢原	伊勢原市石田670-7	0463-96-5752	WE21ジャパンみどり	横浜市緑区中山町218	045-937-2656
WE21ジャパンあやせ	綾瀬市寺尾中1-8-3	0467-78-8178	WE21ジャパンつるみ	横浜市鶴見区豊岡町13-29	045-573-3235
WE21ジャパンひらつか	平塚市代官町11-30	0463-22-5258	WE21ジャパン都筑	横浜市都筑区茅ヶ崎中央30-14	045-948-5596
WE21ジャパンにのみや	中郡二宮町二宮1308-1	0463-71-4421	WE21ジャパンこうほく	横浜市港北区日吉2-12-7	045-563-1808
WE21ジャパン藤沢	藤沢市藤沢1102	0466-24-6002	WE21ジャパンせや	横浜市瀬谷区三ツ境21	045-391-7410
WE21ジャパンちがさき	茅ヶ崎市共恵1-6-20	0467-88-6015	WE21ジャパンいずみ	横浜市泉区中田東3-16-5	045-802-0095
WE21ジャパンおだわら	小田原市栄町3-12-4	0465-23-2909	WE21ジャパンいそご	横浜市磯子区森2-1-10	045-761-3198
WE21ジャパン寒川	高座郡寒川町岡田351	0467-75-8141	WE21ジャパン港南	横浜市港南区港南台3-16-1	045-832-7343
WE21ジャパンたかつ	川崎市高津区溝口3-15-8	044-829-5238	WE21ジャパンかなざわ	横浜市金沢区泥亀1-18-8	045-788-4248
WE21ジャパンさいわい	川崎市幸区南幸町2-13-1	044-533-1248	WE21ジャパンとつか	横浜市戸塚区矢部町291	045-866-0088
WE21ジャパンたま	川崎市多摩区中野島6-29 4号棟101	044-945-2427	WE21ジャパンさかえ	横浜市栄区笠間2-20-8	045-895-7009
WE21ジャパンみやまえ	川崎市宮前区土橋3-2-6-103	044-854-6561	WE21ジャパンみなみ	横浜市南区南太田3-5-4	045-445-4410
WE21ジャパンあさお	東京都稲城市平尾2-16-10	042-331-4919	WE21ジャパンよこすか	横須賀市根岸町3-15-12	046-837-1788
			WE21ジャパン	横浜市神奈川区栄町11-5-3F	045-440-0421

※WE21ジャパン地域NPOがWEショップを運営しています。※すべてのNPOで、会員、寄付金を受け付けています。

### 編集後記

今回はボランティア活動の原点を学び振り返りました。自分の内側にある社会への疑問や不公正に対するモヤモヤが、NGO/NPO活動を始めるきっかけだったように思います。想いを同じくする仲間とのたくさんの出会いに感謝。モヤモヤを抱えたままの方、何かしたいと考えている方は、ご一報をお待ちしています★ (福井)

WE21ジャパンニュース No.72

発行 2014年12月5日

発行責任者 藤井あや子

特定非営利活動法人WE21ジャパン

〒221-0052 神奈川県横浜市神奈川区栄町11-5栄町第2ビル3階

Tel 045-440-0421 Fax 045-440-0440

E-mail:info@we21japan.org

URL:http://www.we21japan.org/